

獣医学部新設に係る内閣府からの伝達事項

○平成30年4月開学を大前提に、逆算して最短のスケジュールを作成し、共有いただきたい。成田市ほど時間はかけられない。これは官邸の最高レベルが言っていること。山本大臣も「きちんとやりたい」と言っている。文科省メインで動かないといけないシチュエーションにすでになっている。

○国家戦略特区における獣医学部新設に係る方針については、以下2パターンが考えられる。(今週、来週での対応が必要)

- ・内閣府・文科省・農水省による方針を作成(例:成田市「医学部新設」)
- ・国家戦略特区諮問会議による方針の決定(例:「民泊」)※諮問会議には厚労大臣も出席。

○今治市分科会において有識者からのヒアリングを実施することも可能。

(成田市分科会では、医師会は呼んでいないが、文科省と厚労省で選んだ有識者の意見を聴取(反対派は呼んでない)。)

○獣医学部新設を1校に限定するかは政治的判断である。

義家副大臣レク概要（獣医学部新設）

- 平成30年4月開学で早くやれ、と言われても、手続きはちゃんと踏まないといけない。
- （国家戦略特区諮問会議決定について、）教育と民泊はちがう。一緒にされては困る。
- 農水省や厚労省は逃げているのか。
- 官邸はどうなっているのか。萩生田副長官に聞いてみる。
やれと言うならやるが、閣内不一致（麻生財務大臣反対）をどうにかしてくれないと文科省が悪者になってしまうと。
- 農水副大臣にも需給はおたくの話でしょ、と話してみる。
- 本件は預かる。また連絡する。

大臣ご指示事項

以下2点につき、内閣府に感触を確認してほしい。

○平成30年4月に開学するためには、平成29年3月に設置認可申請する必要があるが、大学として教員確保や施設設備等の設置認可に必要な準備が整わないのではないか。平成31年4月開学を目指した対応とすべきではないか。

○麻生副総理、森英介議員など獣医学部新設に強く反対している議員がいる中で、党の手続きをこなすためには、文科・農水・内閣府の部会の合同部会もしくはPTを設置して検討を行うべきではないか。少なくとも、衆院福岡6区補選（10月23日投開票予定）を終えた後に動くべきではないか。

※鳩山二郎氏（鳩山邦夫元総務相次男、前福岡県大川市長）、蔵内謙氏（日本獣医師会長長男、林芳正前農相秘書が候補者）

義家副大臣のご感触

○斎藤健農林水産副大臣は「そのような話は上がってきていない。
確認をしておく」ということだった。

○萩生田内閣官房副長官にも話をしたが、あまり反応がなかった。

○大臣のご指示のとおり、（内閣府への確認を）進めてほしい。

- 私が萩生田副長官のところに「ちゃんと調整してくれ」と言いに行く。アポ取りして正式に行こう。シナリオを書いてくれ。
- 齋藤健農水副大臣に、「農水省が需給の部分ちゃんと責任持ってくれないと困るよ」と話した際には「何も聞いていない。やばい話じゃないか。」という反応だった。

大臣ご確認事項に対する内閣府の回答

- 設置の時期については、今治市の区域指定時より「最短距離で規制改革」を前提としたプロセスを踏んでいる状況であり、これは総理のご意向だと聞いている。
- 規制緩和措置と大学設置審査は、独立の手続であり、内閣府は規制緩和部分は担当しているが、大学設置審査は文部科学省。大学設置審査のところで不測の事態（平成30年開学が間に合わない）ことはあり得る話。関係者が納得するのであれば内閣府は困らない。
- 「国家戦略特区諮問会議決定」という形にすれば、総理が議長なので、総理からの指示に見えるのではないかと。平成30年4月開学に向け、11月上中旬には本件を諮問会議にかけると必要あり。
- 農水省、厚労省への会議案内等は内閣府で事務的にやるが、前面に立つのは不可能。二省を土俵に上げるのは文部科学省がやるべき。副長官のところは、文部科学省、厚生労働省、農林水産省を呼んで、指示を出してもらえばよいのではないかと。
- 獣医は告示なので党の手続は不要。党の手続については、文科省と党の関係なので、政調とよく相談していただきたい。以前、官邸から、「内閣」としてやろうとしていることを党の部会で議論するな、と怒られた。党の会議では、内閣府は質疑対応はあり得るがメインでの対応は行わない。
- 官房長官、官房長官の補佐官、両副長官、古谷副長官補、和泉総理大臣補佐官等の要人には、「1、2ヶ月単位で議論せざると得ない状況」と説明してある。

(取扱注意)

10/7萩生田副長官ご発言概要

- 再興戦略改訂2015の要件は承知している。問題は、「既存の大学・学部では対応が困難な場合」という要件について、例えば伝染病研究を構想にした場合、既存の大学が「うちの大学でもできますよ」と言われると困難になる。
- 四国には獣医学部がないので、その点では必要性に説明がつくのか。(感染症も、一義的には県や国による対応であるとの獣医師会の反論を説明。)
- 平成30年4月は早い。無理だと思う。要するに、加計学園が誰も文句が言えないような良い提案をできるかどうかだな。構想をブラッシュアップしないといけない。
- 学校ありきでやっているという誤解を招くので、無理をしない方がいい。
- 福岡6区補選選挙(10月23日)が終わってからではないか。
- 文科省だけで、この案件をこなすことは難しいということはよくわかる。獣医師会や農水関係議員との関係でも、農水省などの協力が必要。
- 私の方で整理しよう。

10月19日(水) 北村直人元議員(石破元大臣同期)→専門教育課牧野

○ 18日、石破元大臣と会って話をした。ご発言は以下の通り。

- ・ 党プロセスは今後どうなるのか。党プロセスを省くのはおかしい。
- ・ 総務会には上がってくるマターではないのか。もし議題に上がってこないなら、私が総務会の場で持ち出すことはやぶさかでない。タイミングを教えてください。

※総務会は、村上誠一郎議員や北村誠吾議員(自民党獣医師問題議連事務局長)が在籍。

○ 政治パーティーで山本国家戦略特区担当大臣と会って話をした。ご発言は以下の通り。

- ・ 4条件がきちんと守られるようウォッチする。ただ、(新設のための)お金がどうなるのかを心配している。

○ 麻生大臣は野田秘書に以下のように話していたとのこと。

- ・ 自分は総理から本件関係で何も言われていない。この話を持ち出されたこともない。だからもう(やらない方向で)決着したのだと思ってたくらいだ。
- ・ (野田秘書から最近の状況を話し、)そうか……。